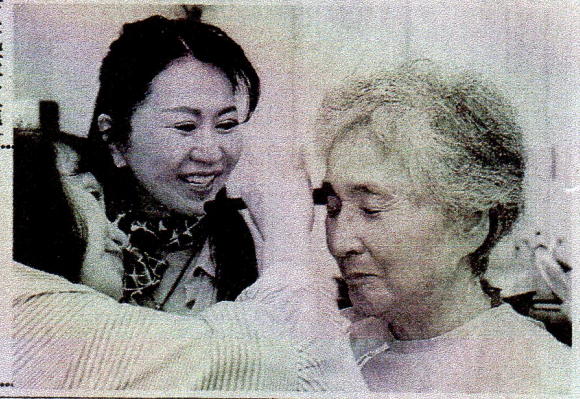


# メイクセラピー-活動普及活動

## 化粧で気持ちも若返り 小野の高齢者施設 女性にセラピー



酒造志保さん(中央)からボランティアにメイクをしてもらう入居者(小野市黒川町)

高齢女性に化粧を施して若々しい気持ちを取り戻してもらう「メイクセラピー」が、小野市黒川町の老人ホーム「グッドタイムリビング小野」でこのほど開かれた。入居者14人がボランティア女性3人に化粧をしてもらいながら若い頃の話に花を咲かせた。

化粧には気持ちが前向きになる効果があり、認知症予防にもつながることから、施設を運営するオリックス・リビング(東京都)が企画。芦屋市のメイクセラピスト酒造志保さん(51)が主宰するメイクボランティアグループ「shin.shin friends 倶楽部」を招いた。酒造さんは、阪神・淡路大震災後の避難所で被災者に化粧をしたのがきっかけで化粧療法を学び始めた。2004年に教師の仕事から辞め、07年から同グループをつくってボランティア活動を続けている。酒造さんらは、化粧をしていた若い頃の話などを入居者に聞きながらメイク。最初はこ

の年で化粧なんかと断ろうとしていた女性も、頬紅や口紅を塗ってもらうと、すっかり笑顔になって鏡を見ていた。普段は眉を描くだけという前田孝子さん(84)は「気持ちが明るくなりました」と話していた。(吉田敦史)

多くの人に  
「笑顔」と  
「感動」  
を!

他に、  
・毎日新聞 2014年5月31日(土)  
「生活面」に「新も心も喜ぶ『魔法』」  
掲載

・神戸新聞 2014年6月28日(土)  
「西播版」に「化粧で華やかな笑顔に」  
掲載

神戸新聞 北播ワイド  
2014年5月20日(火)

日本一明るい経済新聞 4月号

心の元気づくり!

メイクセラピーshin.shin(☎090・2285・0766)は、静脈マッサージ、シェラックネイルで女性のキレイづくりを応援する芦屋隠れ家サロン。みき社長はメイクセラピストとして、美容を通じて心の元気づくりにも取り組んでいる。メイクセラピストのみきしほさんは、看護師の資格も持つ。以前は養護学校の養護教諭(保健室の先生)をしていたが、「メイクに出会って興味を持つようになり、そこへ阪神淡路大震災に直撃、被災者にメイクをして喜ばれたことで、メイクセラピストを目指しました」と。



### メイクセラピーshin.shin

「高齢者、障がい者の女性に、お化粧をしてあげると本当に明るくイキイキされます」と実感。3年前に起業し、芦屋市茶屋之町に芦屋隠れ家サロンをオープン。ここを拠点に、サロン経営、メイクセラピスト、メイクボランティアの3本柱で活動する。

サロン経営では、サンディング無しで爪を傷つけない新世代の「シェラックネイル」、静脈の方向に圧を加えて流し、コリとくすみをとる「静脈エステ」、そして「メイクセラピスト養成スクール」を開講する。みきさん自身も、メイクセラピストとしてセミナー講師、講演活動を行う。

また、「shin.shinフレンド倶楽部」を立ち上げ、仲間35人と一緒に介護施設などへ、メイクボランティア活動にも取り組む。「美容を通じて心を元気に明るい世の中になりたい」と、世界へ活動を広げていく夢を持っている。